

各都道府県協会 会長・事務局長 各位
各加盟部会 会長・事務局長 各位

第 R2 回日ク発第 322 号
2021年 3月 29日
(一社) 日本クレ射撃協会
競技委員長 渡辺 久雄
審査委員長 柏木 孝則
(※ 公 印 省 略)

2022 年度以降 JCSA ルールの見直しについて

日頃はクレ射撃の普及・振興、競技力の向上にご尽力頂き、誠にありがとうございます。

JCSA ルールについては、初心者、高齢者も楽しめる生涯スポーツの一環として、また地方公式大会の活性化を図るため、地方公式大会・地方ブロック大会・国民体育大会へ 2018 年度より導入して参りました。

競技・審査委員会（以下委員会という）としては、地方協会が主管する地方公式大会は、当該地方協会の射手レベルに合わせ、ISSF・JCSA の両方の大会を開催いただくことを期待しておりましたが、JCSA ルール導入後、現状の地方公式大会は、国民体育大会の県内予選を兼ねているケースが多く、国際的な ISSF ルールのもとで大会を開催する地方協会が無いのが実状です。

その結果、ISSF ルールで執り行う本部公式大会における選手のスコアからも競技力低下が垣間みられ、また ISSF ルールのもとで試合を行いたい選手が本部公式大会に集中するようになりました。

ISSF ルールは、クレセットはトラップ 76m±1m、スキート 68m±1m、75 撃＋50 撃＋ファイナルで行い、国際審判員及び審査団によって公平・公正にジャッジされます。ところが、従来の地方協会が行う ISSF ルールとは、クレセットにおける距離のみに固執し、審判員ライセンスの有無を確認すること無く参加選手が審判員を務め、開・閉会式も無い公式大会が催されている状況は、クレ射撃競技の普及・振興と競技力向上を目的とする競技団体の公式大会の有り様としては、早急に改善すべきと委員会は考えております。また、結果的に地方公式大会は全国一律で JCSA ルールを国体の予選会を兼ねる大会に移行してしまったことなどの課題を踏まえ、委員会としては今後の対応について協議を重ねて参りました。

委員会より理事会へ提案し、本部としては前述状況を是正するため、国民体育大会を ISSF ルールの大会に戻すことを、去る 3 月 24 日開催の 2020 年度第 7 回理事会で決定させていただきました。また、理事会では、今後、下記スケジュールに基づいて実施することを申し合せ、JCSA ルールにて行う国民体育大会は、2021 年度開催予定であります第 76 回三重国体で終了と致します。

各都道府県協会及び部会関係者におかれましては、諸事情につきご理解を賜りますようお願い申し上げますと共に、所属会員方々への周知についてご協力下さるよう、併せてお願い致します。

記

<今後の予定>

- 2021年3月24日理事会へ「2022年度 JCSA ルールの見直し」を提案
- 2021年3月29日理事会承認を得て、地方協会、部会に「2022年度 JCSA ルールの見直し」を通達
- 2021年度（2021年4月～2022年3月）は移行期間
 - ・マスター・ビギナーズルールの試行期間とする。
 - ・公認審判員講習会時に競技・審査委員長が ISSF、マスター・ビギナーズルールの説明を行い、会員への周知徹底を行う。
 - ・2022年3月31日 JCSA ルールでの国体運用を終了。
- 2022年度（4月1日）～ ISSF ルールによる大会、マスター・ビギナーズルールによるグランドマスター、ビギナーズマッチ大会の運用開始。
※ビギナーズは初心者の育成として、マスターは生涯スポーツとして実施する。

* 国体運用ルールについては次の通りとなります。

- ・2021年 三重県 JCSA ルール
- ・2022年 栃木県 クレー射撃なし
- ・2023年 鹿児島県 クレー射撃なし（コロナの影響により2020年から延期）
- ・2024年 佐賀県 ISSF ルール

<留意事項>

各都道府県協会・部会関係者におかれましては、次の点についてご認識を共有下さるようお願い申し上げます。

- ① 2022年度地方公式大会は、ISSF 大会のみならず、マスター・ビギナーズルールによるグランドマスター、ビギナーズマッチ大会を必ず実施すること。
- ② ISSF 大会は有資格の審判員・審査団によって大会が演出されることを理解し、正しい規則に基づき競技を運営・進行すること。同時に審判員・審査団の育成について傾注いただくこと。
- ③ 地方公式大会実施の際は、開会式／閉会式を必ず執り行うこと。

<その他>

- ① ISSF ルールの下で実施される地方公式大会の実施要項（模範例）については、2021年度中に委員会・理事会において協議を重ね、各地方協会・部会関係者各位へ周知を図るよう努めて参ります。
- ② 2022年度から従来のランキング制度を改め、「全日本ランキング」を導入することを決定しました。参加選手の皆様へ、是非とも自身のランキング順位が上がるよう競技力向上に努めていただきたく存じます。

尚、本件につきご不明点等ありましたら、本部事務局までお問い合わせください。

以 上

本部事務局問合せ先 担当：坂本
e-mail : jctsa@jctsa.or.jp tel: 03-6804-3970

日本クレイ射撃協会が定めるトラップ種目のセットは、下記の3種類であります。

【ISSFルール】	【JCSAルール】	【マスター・ビギナーズルール】
飛行距離は76m±1m	飛行距離は66m±1m	飛行距離は56m±1m
セット表は、9セット	セット表は、9セット	セット表は、3セット
ワールドカップ・世界選手権・オリンピックで使われる、ISSF指定のセット表による最高難度のセットである。	国民体育大会出場を目的とした選手の為のハイレベルな国内セット。	ビギナー及び生涯スポーツとして、クレイ射撃競技を楽しむ人を対象とした国内ルールである。
この大会は、2日間で(75射+50射+ファイナル)にて勝者を決定する	セット表は、ISSFルールの9セットを角度±10度、高低差±1mにて各地方協会が、セットを決められるものです。	日本クレイ射撃協会主催によるグラウンドマスター、ビギナーズマッチ大会に使用されるセットである。
このセットには、国際審判員及びジュリーが必要となり、ファイナル戦には、BGM及びタイマーの装備が、必要となる。	文科省・日ス協主催による国民体育大会クレイ射撃競技に使用されるセットである。	
レフェリーは国際審判員及びジュリー有資格者に限る	レフェリーは国内審判員有資格者に限る	レフェリーは国内審判員有資格者に限る
75射+50射+F	100射	75射+F
		<ul style="list-style-type: none"> ・大会当日、満60歳以上の者 ・本年度新入会員の方 ・パラ・クレイ部会登録会員の方 ・前年度ランキングCクラスで本年度会員登録を経た方 ・入会予定者
本部主催全日本選手権、本部公式、ブロック別本部公式等の大会は全て75射+50射+ファイナルで行います。ファイナル形式はISSFルールによる。(トラップ50射、スキート60射)		

日本クレイ射撃協会が定めるスキート種目のセットは、下記の3種類であります。

【ISSFルール】	【JCSAルール】	【マスター・ビギナーズルール】
飛行距離は68m±1m	飛行距離は63m±1m	飛行距離は58m±1m